

住民協働事業審査会 講評

NO	団体名／事業名	関係課	講評
1	NPO法人大網お助け隊／有償ボランティアまちサポお助け隊	地域づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・支援人数・会員ともに協働としての位置づけ以降は着実に伸びており、高く評価できる。NPO法人となったことで、今後の活動の持続性についても展望が拓かれつつあると思われる。他の活動も含めたうえで改めて何が課題なのかを整理し、柔軟な連携体制を作っていくことが必要と思われる。 ・地域の高齢化の課題がある中、協働事業を行いながら、事業実績を伸ばし、組織強化も図って、1つの仕組みとして作り上げたことは大変評価できる。今後、さらによい事業としていくために、担い手の確保を進めていただきたい。 ・引きこもりがちな高齢者の支えになっており、高齢者の免許証返上の増加で外出支援の必要性は増加する。 ・庭仕事、大工仕事は危険性もあるため、保険等の対策が必要。 ・補助を受けてなお募集が課題であれば、継続は難しい。
2	十枝の森を守る会／十枝の森自然環境保全活動	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり、十枝の森の保全活動をボランティアで行い、自然や森の歴史に深い愛着を持っている団体。協働事業を通して、市との理解が一步進み、成果が得られたことが評価できる。 ・地元住民との関係がよくなったことは評価できる。 ・ほとんどが人件費では、持続可能とはいえない。 ・会員も高齢化しているので、管理要員には、行政側として業者委託をする必要もあるのではないかと。 ・活動内容そのものは地味なところもあるが、その継続こそが重要なので取り組みについては高く評価できる。市所有のものであるだけに、この場所がどのような方向のもとに生かされるのか見えてこないことが、団体のスタンスを中途半端にさせているのは否めない。
3	オープンガーデン大網白里「花フレンド」／オープンガーデンによる温もりのあるまちづくり	都市整備課	<ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーも定着し、オープンガーデンの取り組みが継続的に展開している。他の地域のオープンガーデンを視察しながら、大網白里ならではのものを追求しようとしている点は評価できる。 ・オープンガーデンの運営のスキルアップや広める活動に関わる人を増やすために、バスツアーや他市の視察、研修など様々な取り組みをしてアプローチしていることが評価できる。 ・市が視察先との調整や同行などを行い、理解を深められたことで、今後、市の活性化やPRに向けて今後の協働も進められると思う。 ・来訪者の統計で行政職員はどのくらい参加しているのか。 ・市民団体が先駆けて行うという「誰かがやらなければ」という雰囲気が良い。
4	(一社)大網白里まちづくりサポートセンター／地域の子育てサポート事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に先駆けて、子育てサポートの地域活動を始めていることは高く評価できる。預ける側、サポートする側の信頼関係構築のためには、子どもを預けるという生活文化を改めて共通理解していくことが必要と思われる。 ・やがて行政が運営するのであれば、初めから行政職員がもっと関わってもよいのでは。 ・「前例のない事を行っている責任の重さ」を感じ、「ファミリーサポート事業の基盤作りに貢献できてよかった」の言葉にあり、価値のある協働事業になったと思う。命の大切さを共有するための研修なども適切に行われていることを評価する。
5	大網白里自然観察ガイドの会／【行政提案型事業】我がまち 魅力発見ツアー(ガイド)	地域づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・長年活動してきた団体が、協働事業を行うことにより、スキルアップや組織の強化がされたこと、活動をより広く知ってもらうことができたことが評価できる。 ・図書館内にある「あゆみ」を再編するだけでも価値がある。参加者の声を知りたい。 ・地域の自然資源を丁寧に掘り起し、参加者とともに現場に赴き、その価値を共有していることは高く評価できる。ガイドを通じてさらに参加者を増やしていくことが求められるとともに、参加者の生の声をもっと伝えて、多くの人の感性に訴えかける工夫も必要と思われる。